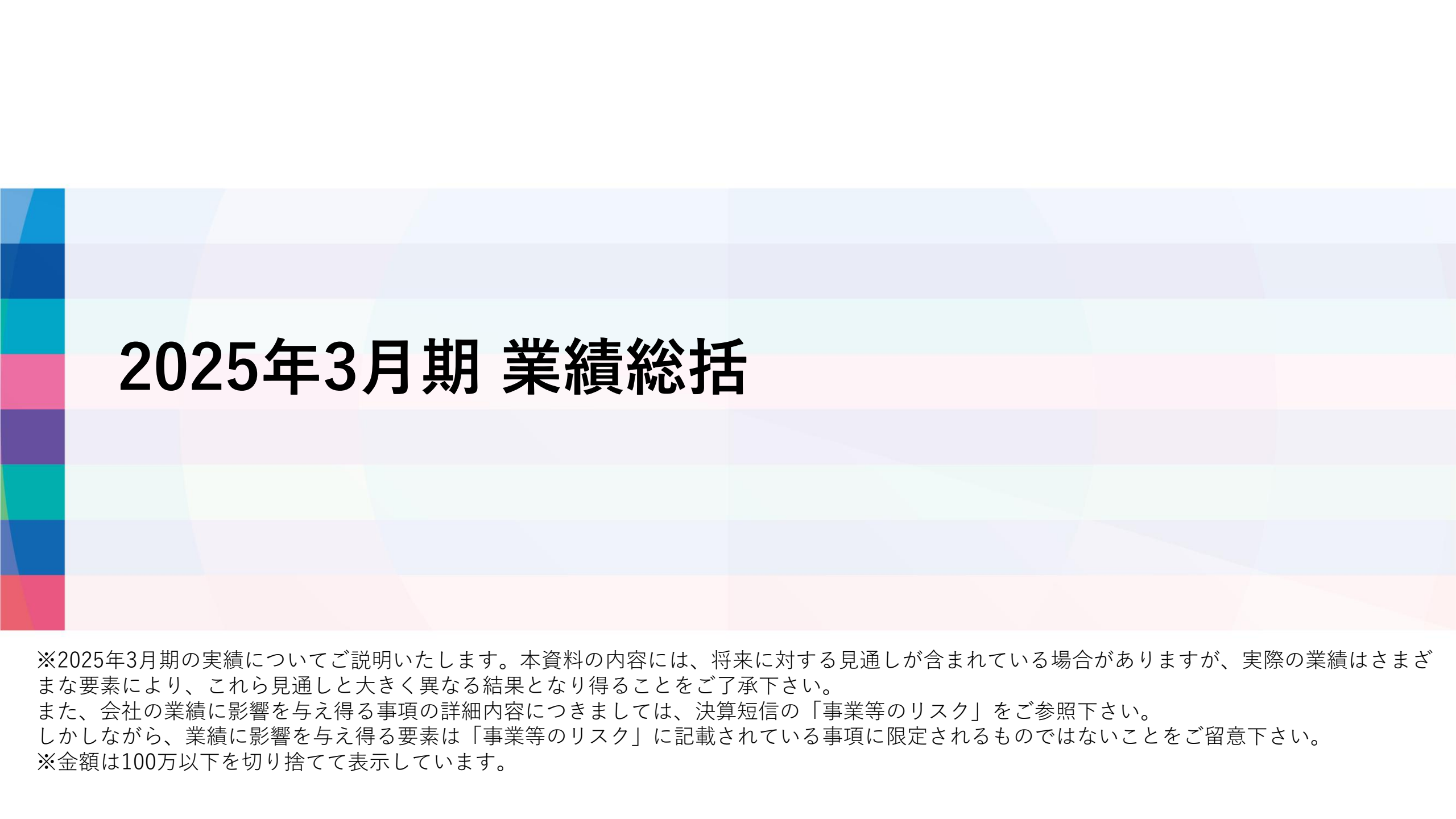


2025年3月期 決算説明会

～データと一緒にワクワクする未来へ！～

STANDARD
CODE:3848

DAL
Data Applications Company, Limited



2025年3月期 業績総括

※2025年3月期の実績についてご説明いたします。本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承下さい。

また、会社の業績に影響を与え得る事項の詳細内容につきましては、決算短信の「事業等のリスク」をご参照下さい。

しかしながら、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意下さい。

※金額は100万以下を切り捨てて表示しています。

業績ハイライト

売上高

2,607 百万円

前年同期比 ▲10.7 %

< プラス要因 >

- ・単体において4Qに大型案件をパッケージにて受注し、一過性特需が発生
- ・子会社である株式会社WEEL（以下、WEEL社）の寄与

< マイナス要因 >

- ・単体における前期の一過性特需が剥落し、売上高減少

< その他 >

- ・単体におけるサブスクリプションは順調に推移

営業利益

329 百万円

前年同期比 ▲40.1%

- ・売上高減少に伴い、営業利益も減少
- ・事業拡大に伴う人件費増加、M&A関連費、のれんが影響
- ・その他コスト（家賃など）は減少

経常利益

360 百万円

前年同期比 ▲36.9%

親会社株主に
帰属する
当期純利益

268 百万円

前年同期比 ▲45.7%

(参考)
EBITDA
※

440 百万円

※営業利益329M + 償却費89M + 株式報酬費用21M

- ・前年同期比は、参考として非連結との比較です。
- ・売上計上の区分は、販売方法により、パッケージ売上とリカーリング売上（サブスクリプション売上、メンテナンス売上、タームライセンス売上）、サービスその他売上があります。詳細はP33をご参照ください。

2025年3月期業績

売上高：子会社であるWEEL社の寄与があったものの、単体における前期の一過性特需の剥落により減収、一方で4Qに大型案件をパッケージにて受注し、一過性特需の発生が下支え

利 益：WEEL社グループインに伴うコスト増

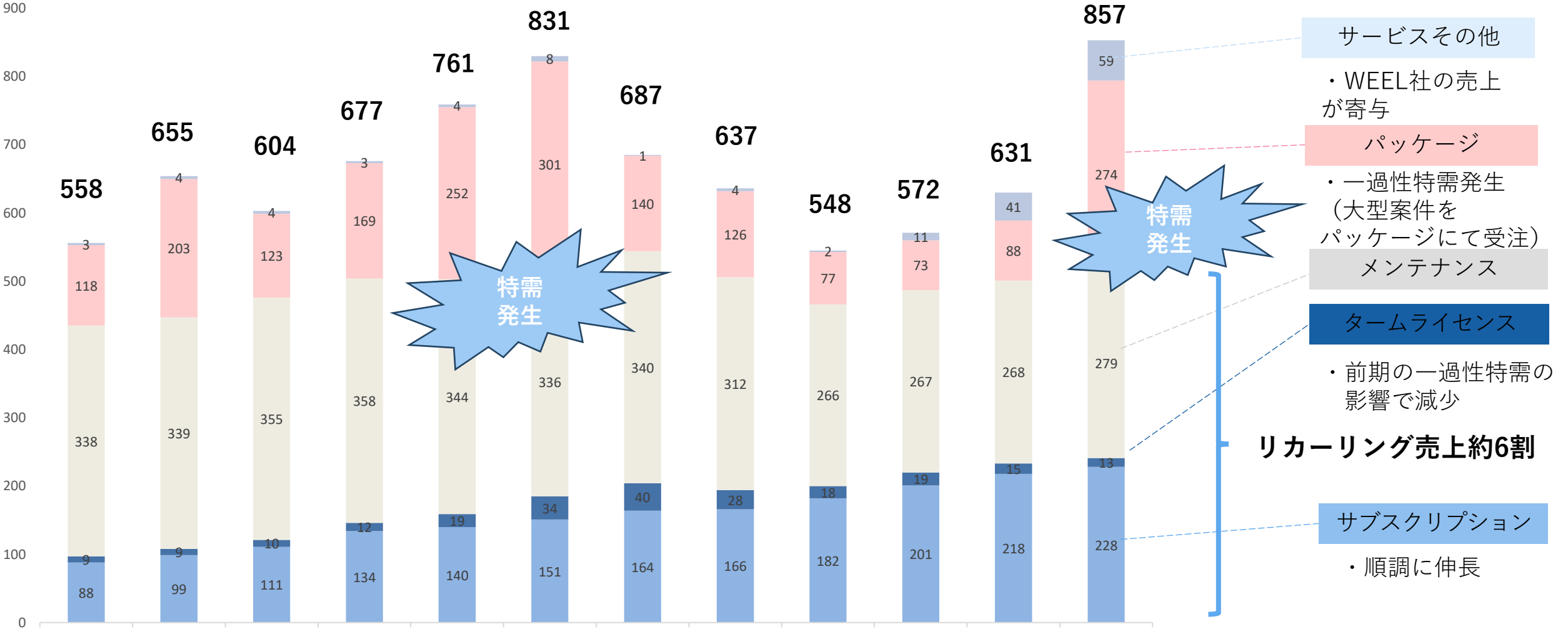
	24/3期 実績（単体）	25/3期 期初計画値 （単体）	25/3期 修正計画値 （連結）	25/3期 実績（連結）	増減率
					対前年同期比
売上高	2,919	2,600	2,500	2,607	▲ 10.7%
営業利益	549	350	200	329	▲ 40.1%
経常利益	570	366	220	360	▲ 36.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	493	254	170	268	▲ 45.7%

（百万円）

※2024年3月期実績ならびに2025年3月期期初計画値は単体での数値

売上構成

■リカーリング売上（サブスクリプション・メンテナンス・タームライセンス）比率は約6割



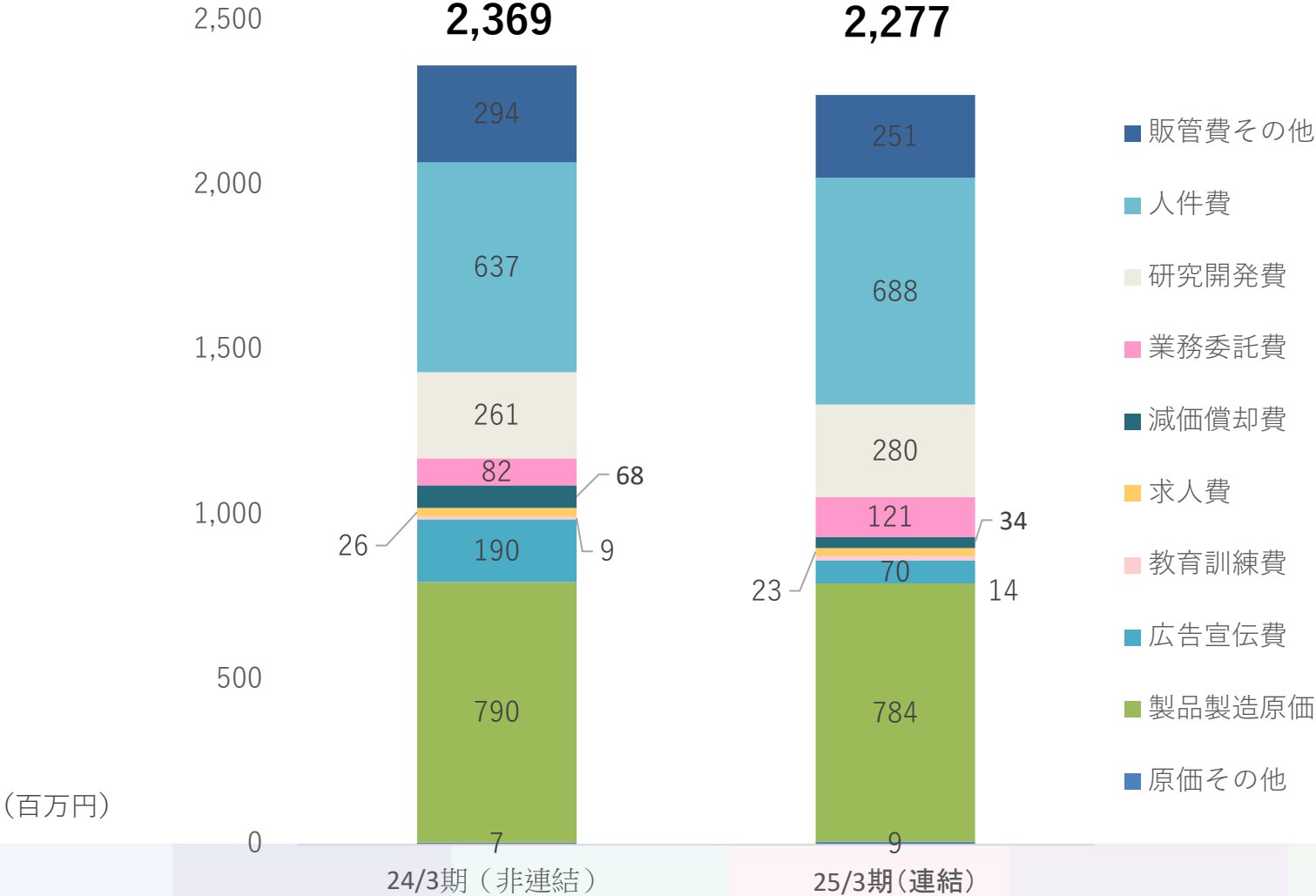
サブスクリプションMRR（Monthly Recurring Revenue：月次経常収益）

■順調に伸長



総費用の推移

■コスト管理により総費用は減少。4Q特需はあったが、サブスク化推進により営業利益は中長期的な成長に向けた過渡期にあり、現在は成長基盤を構築中



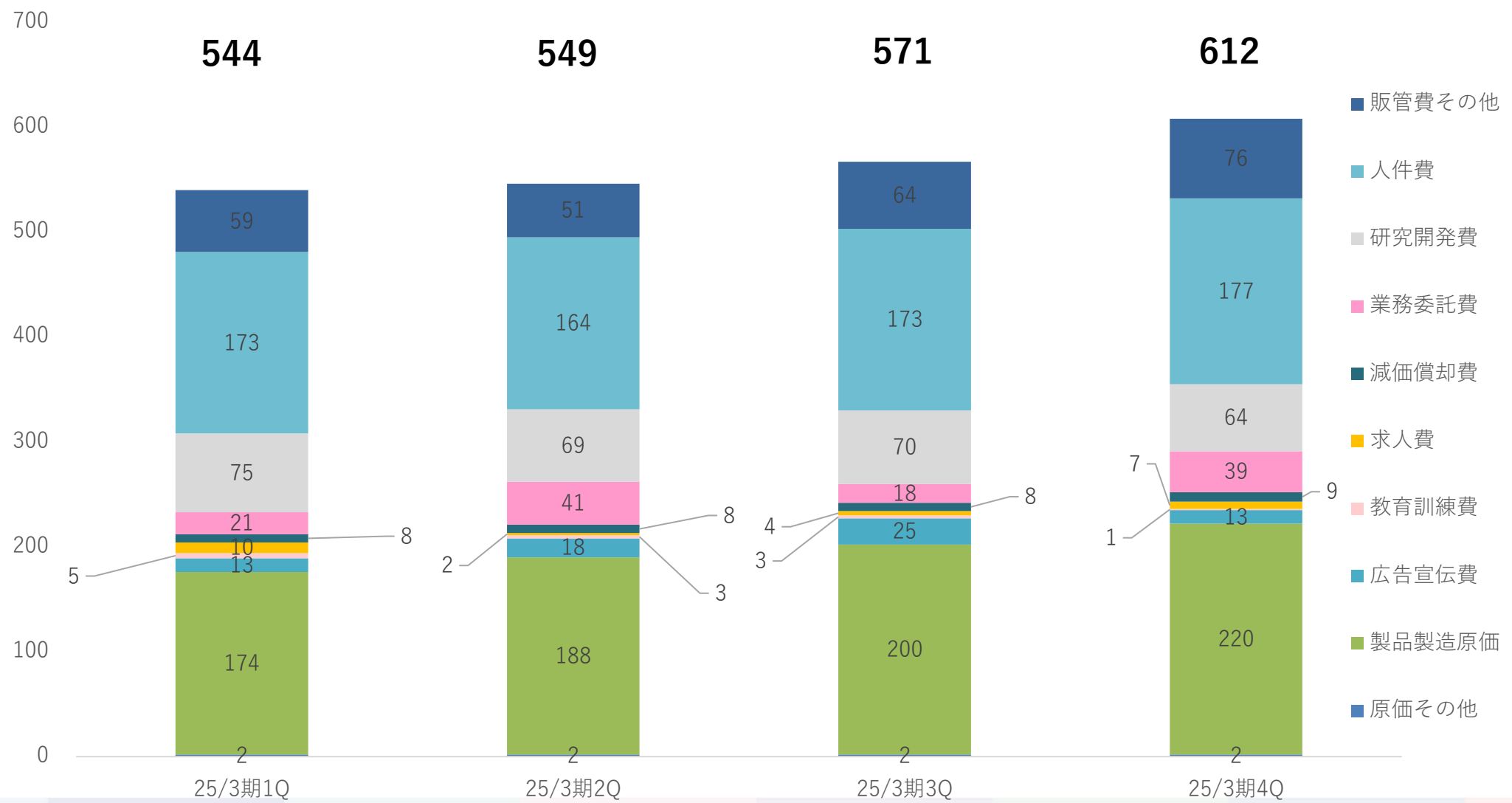
販管費

- ・ 事業拡大に伴い人件費、求人費が増加
- ・ 新製品・新サービスACMS Cloud、Placulの開発により、研究開発費が増加
- ・ 人的資本経営強化のため教育訓練費が増加
- ・ 移転に伴う家賃、減価償却費は減少
- ・ WEEL社のM & Aに関連して人件費、業務委託費が増加
- ・ CM施策を一巡させたことで広告費が減少

原価

- ・ 製品製造原価は、移転に伴い、家賃と減価償却費減少

参考：総費用の四半期推移



(百万円)

製品別売上構成

■ 戦略製品売上高は、ACMS Apexの拡販により、前期比3.3%増 (百万円)

	24/3期（非連結）		25/3期（連結）		前期比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
戦略製品合計 ACMS Apex RACOON	576	36.8%	595	42.2%	3.3%
その他製品 (ACMS WebFramer・ACMS B2B・AnyTranなど)	990	63.2%	815	57.8%	▲17.7%

※新規売上であるパッケージ（売り切り）、サブスクリプション、タームライセンスの合計値で集計しています。
(メンテナンス、サービスその他を除く)

貸借対照表（B/S）

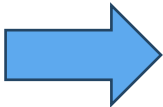
- 総資産6,179百万円、純資産4,775百万円
- 子会社M&Aにより255百万円のものれんが発生

2024年3月期（非連結）

2025年3月期（連結）

(単位：百万円)

その他流動 資産 189	現預金 4,149	流動負債 1,133
		固定負債 304
	固定資産 1,667	純資産 4,569



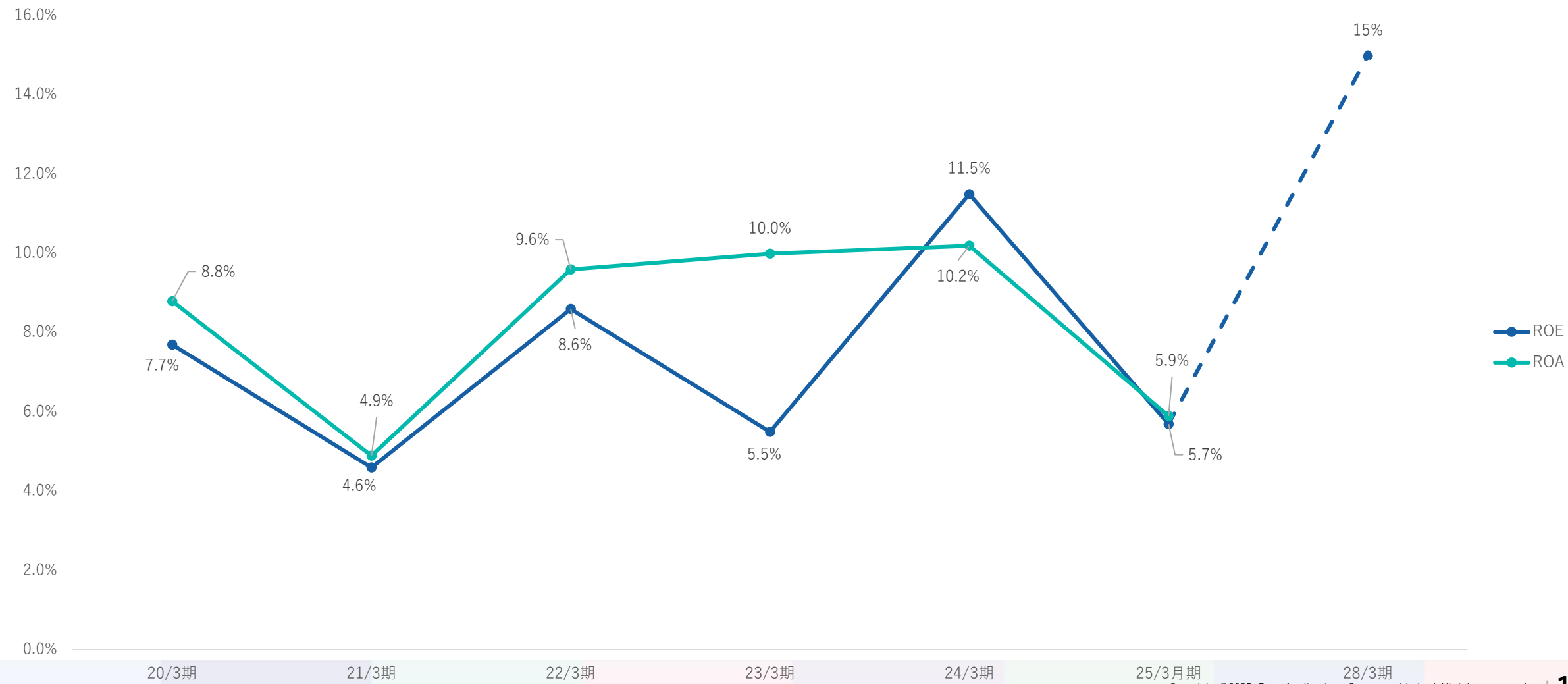
(単位：百万円)

その他流動 資産 397	現預金 3,828	流動負債 1,137
		固定負債 265
	固定資産 1,954	純資産 4,775

各指標（ROE・ROA）の推移

■自己資本比率77.3%

中期経営計画の目標値
※ROAは非開示



2025年3月期経営方針

■中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）の初年度の経営方針は以下の三本の柱を設定

事業領域の拡大・開拓

クラウドサービスでのACMSの市場投入

Placulの市場投入・顧客獲得

M&Aの実現

収益安定性の向上

サブスクモデルでの案件受注強化

サービスレベルの維持・向上

ランニングコストの適正化

人的資本経営の推進

優秀な人材の積極的採用

階層別教育の強化・徹底

ウェルビーイング施策の積極的試行

Topics：事業領域拡大・開拓

■クラウド型データ連携プラットフォーム「ACMS Cloud」正式リリースに向けて、試運用環境を2025年5月7日から提供開始

■ワークマネジメントプラットフォーム「Placul（プラカル）」は無料で利用できるフリープランを提供開始

■ 2024年7月にWEEL社がグループイン、2025年4月にはデジタルトランスコミュニケーションズ株式会社（以下、DTC社）・株式会社メロン（以下、メロン社）が新たにグループイン。4社連携により、障害検知を含む高度な分析が可能になる次世代のデータプラットフォームを構築する体制を確立

事業領域の拡大・開拓

クラウドサービスでのACMSの市場投入

Placulの市場投入・顧客獲得

M&Aの実現



Topics：収益安定性の向上

■サブスクリプションの売上高は順調に伸長（P5参照）

全ライセンスのサブスクリプション化を加速、更なる伸長を目指す

収益安定性の向上

サブスクモデルでの案件受注強化

サービスレベルの維持・向上

ランニングコストの適正化



Topics：人的資本経営の推進

■研修の充実（階層別スキル訓練強化、アンコンシャスバイアス研修、e-learning受講率100%達成など）

■人権方針、健康経営方針の策定後、管理職向けにエンゲージメントサーベイ実施

人的資本経営の推進

優秀な人材の積極的採用

階層別教育の強化・徹底

ウェルビーイング施策の積極的試行



《オリジナル学習パス》

DAL

株式会社データ・アプリケーション

2026年3月期連結業績見通し及び配当予想

増収要因：Placulの業績寄与、DTC社およびメロン社のグループインによる事業拡大
減益要因：3社グループインに伴う人員・管理体制の強化コスト増、人件費および外注費の上昇

(百万円)

	25/3期 実績	26/3期 計画値	前期比	
			金額	増減率
売上高	2,607	4,500	+ 1,892	+ 72.6%
営業利益	329	280	▲ 49	▲ 14.9%
EBITDA※	440	500	+59	+13.4%

※EBITDA = 営業利益 + 償却費 + 株式報酬費用

一株当たり配当金 26円 26円（予想）

The background features a vertical bar on the left side composed of several colored squares: blue, dark blue, teal, pink, purple, teal, dark blue, and red. The rest of the background is filled with a grid of horizontal bands in various colors, including light blue, light purple, light green, light pink, light yellow, and light orange, creating a layered, geometric effect.

Appendix

データ・アプリケーションとは？

企業内外のあらゆるデータのハブになり情報のインフラを作る
ソフトウェアパッケージベンダー



1.作業効率化

2.脱属人化

3.経費削減

4.データ利活用

「未来情報社会創造はひとりひとりの喜びから」

お客様ひとりひとりの喜びを私たちひとりひとりの喜びとし、
この喜びが未来情報社会を創造する力となる企業でありたいと考えています。
これを実現する為に、

革新や進歩を目指した経営を行います。

※常にお客様の声を受け止め、企業成長に果敢にチャレンジします。

社会及びお客様に対して貢献します。

※ソフトウェア製品の研究開発とサービスにより社会発展に貢献します。

※常に高い倫理観を持ち社会に対して責任を持ちます。

株主に対して貢献します。

※企業価値向上のための経営を行います。

社員の幸福を実現する経営を行います。

※社員が最も活躍出来る環境を用意します。

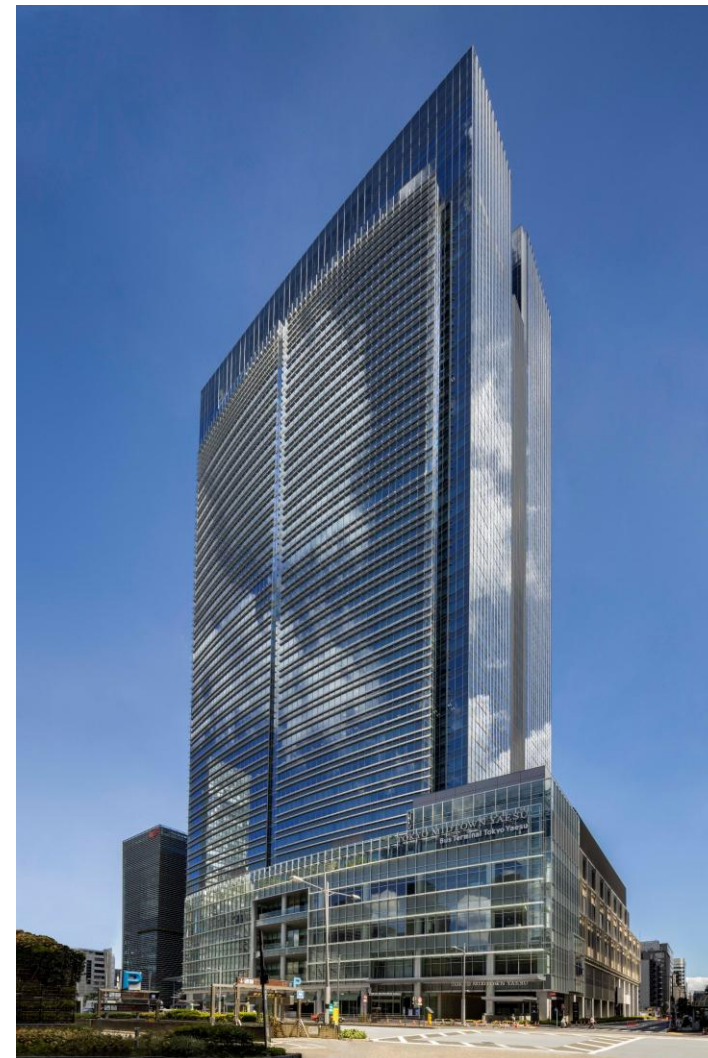
※社員と共に仕事を通じて喜びを分かち合います。

※各人の特性と個性を活かした活躍の場を用意します。

※社員に対し公平に処遇します。

会社概要

- ・ 社名 株式会社データ・アプリケーション
- ・ 証券コード 3848：スタンダード市場
- ・ 東京オフィス 東京都中央区八重洲2-2-1
（本社） 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー27階
- ・ 鹿児島オフィス
- ・ 代表者 代表取締役社長執行役員 安原 武志
- ・ 設立 1982年9月27日
- ・ 資本金 430,895千円
- ・ 従業員数 連結：150名（2025年3月末現在）
単体：136名（2025年3月末現在）
- ・ 売上 2,607百万円（2025年3月期）
- ・ 事業内容 企業内外のデータ連携に関するソフトウェア開発と販売
およびコンサルティング
- ・ パートナー ビジネス・パートナー：55社（2025年3月末現在）
- ・ グループ会社 株式会社WEEL
デジタルトランスコミュニケーションズ株式会社 ※
株式会社メロン※ ※2025年4月1日グループイン



グループ会社



株式会社WEEL

<https://weel.co.jp/company/>

生成AI を活用したシステム受託開発・コンサルティング、および AI メディア運営



デジタルトランスコミュニケーションズ株式会社

<https://www.dtcom.jp/>

EDI（電子データ交換）/EAI（企業内アプリケーション統合）を基軸としたビジネスインフラソリューション、システムインテグレーションやサービス提供



株式会社メロン

<https://melloninc.jp/>

時系列解析技術やそれを組み合わせた大規模言語モデルに強みを有し同技術を用いた、データ 活用・分析に関連する AI 開発やソフトウェア開発

ビジネスモデル

強力なビジネスパートナーを活用した間接販売

DAL



ビジネスパートナー



エンドユーザー



当社の強み

圧倒的な実績・製品力



EDIマーケットリーダーから
データ連携市場へ

データ連携を
ワンパッケージで



幅広いデータ連携が可能

強力なパートナー



販売代理店55社

安定成長ビジネスモデル



リカーリング事業比率
約7割超



研究開発型企业



技術者比率約5割超

沿革



1982年9月
創業

DAL

2007年4月
JASDAQ上場

2020年2月
東京都中央区京橋に移転
2020年4月
代表取締役社長 安原武志
就任

2022年4月
新市場区分
「スタンダード市場」
移行

2023年12月
東京都中央区八重洲に
移転

2024年7月
株式会社WEELを子会社化

2025年4月
デジタルトランスコミュニケーションズ株式会社・株式会社メロンを子会社化

主力製品・サービス概要：DIGITAL WORKを実現するプラットフォーム

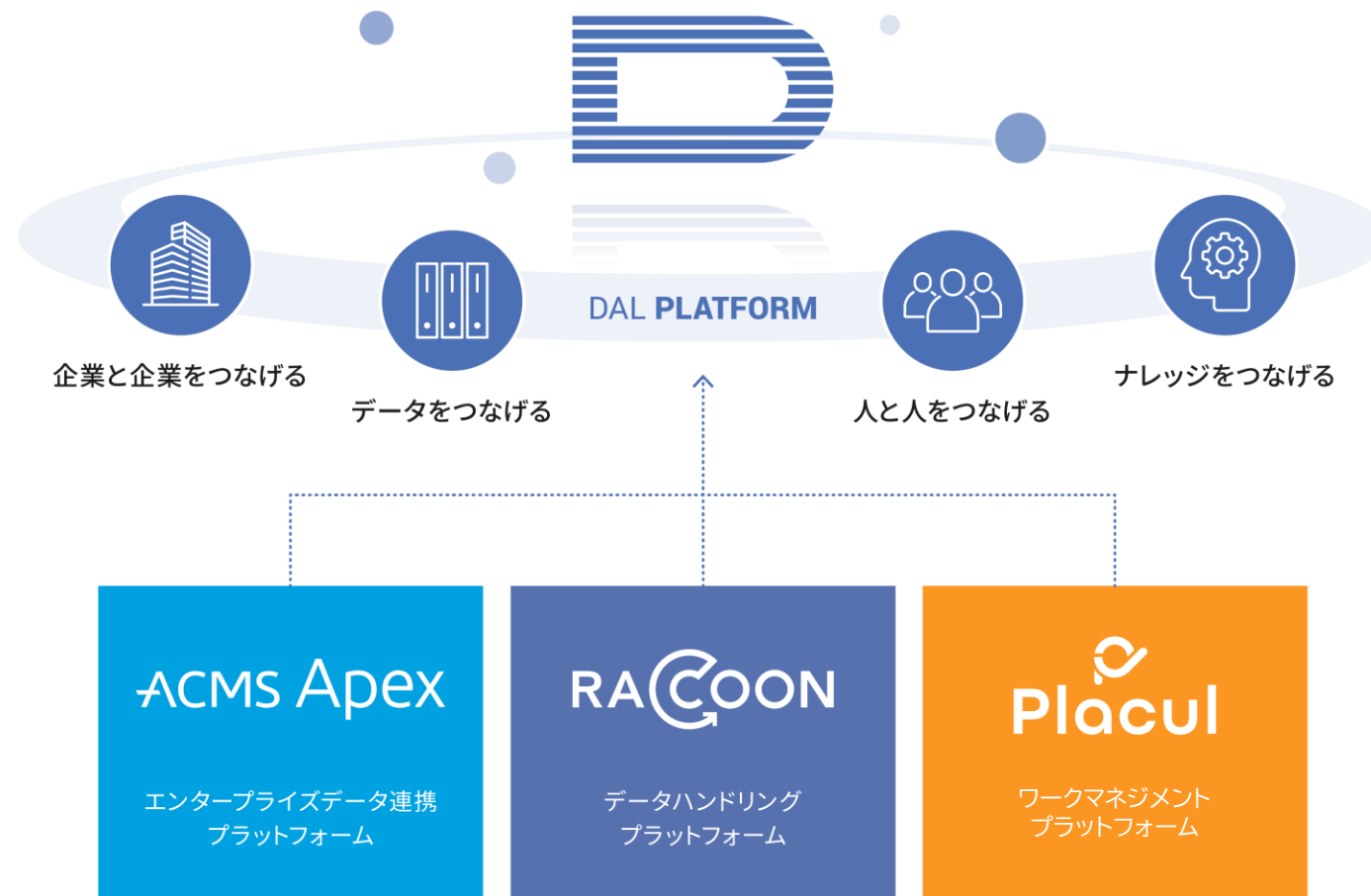
製品・サービス名	概要
クラウド型データ連携プラットフォーム 	企業間・社内システムをシングルプラットフォームで簡単に連携、手軽に始められるクラウド型データ連携プラットフォーム
エンタープライズ・データ連携プラットフォーム 	既存の業務アプリケーション資産を生かし、セキュアかつ可用性の高いデータ連携基盤を容易に構築できるソフトウェア
データハンドリングプラットフォーム 	データ連携や移行時のデータ加工・変換をノーコードで実現できるソフトウェア
ワークマネジメントプラットフォーム 	チーム協働業務の目標とタスクを通じてリモートワーク/ハイブリッドワーク課題を解決し、個々人の自律を支援するクラウドサービス

製品の歴史

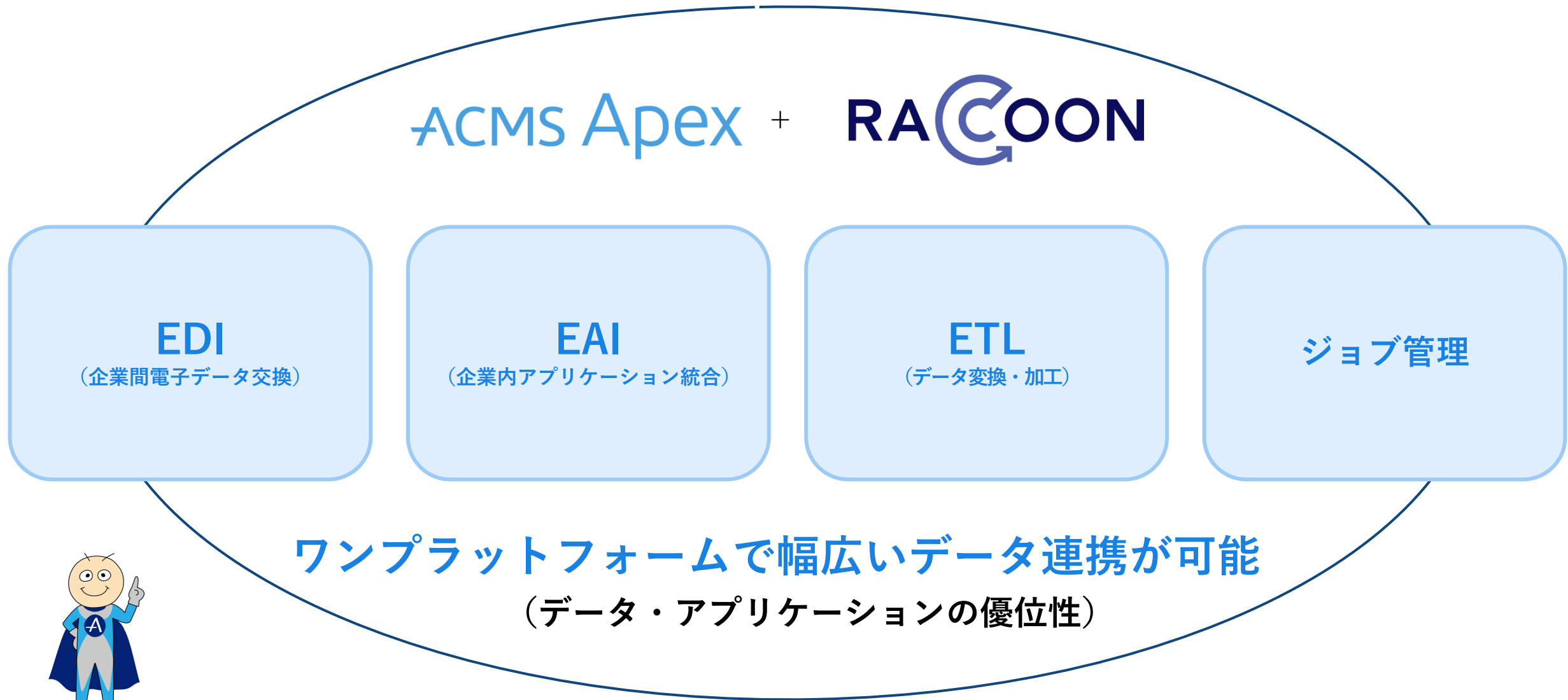
1988年3月	1992年11月	1996年4月	2002年5月	2005年12月	2013年9月	2014年3月	2016年6月	2020年8月	2024年7月
FTC用※ ネットワーク ソフトウェア	UNIX対応 EDI ソフトウェア	Windows NT対応 EDI ソフトウェア	Java採用 インテグレー ション・ ソフトウェア	EAI機能追加 インテグレー ション・ サーバ	エンター プライズ Web-EDI システム基盤	デー タ ハンドリング プラット フォーム	エンター プライズ・ データ連携基盤	文書データ 活用・EDI統合 ソリューション	ワークマネジ メント プラット フォーム
S-GARNET 販売	ACMS/UX 販売	ACMS/NT 販売	ACMS B2B 販売	ACMS E ² X 販売	ACMS WebFramer 販売	RACCOON 販売	ACMS Apex 販売	OCRtran 販売	Placul 販売

※FTC:Fault Tolerant Computerの略 無停止型コンピュータ

個人と組織がともに成長し続けるDIGITAL WORKを実現する



ACMS Apex ・ RACCOON製品コンセプト



配当方針について

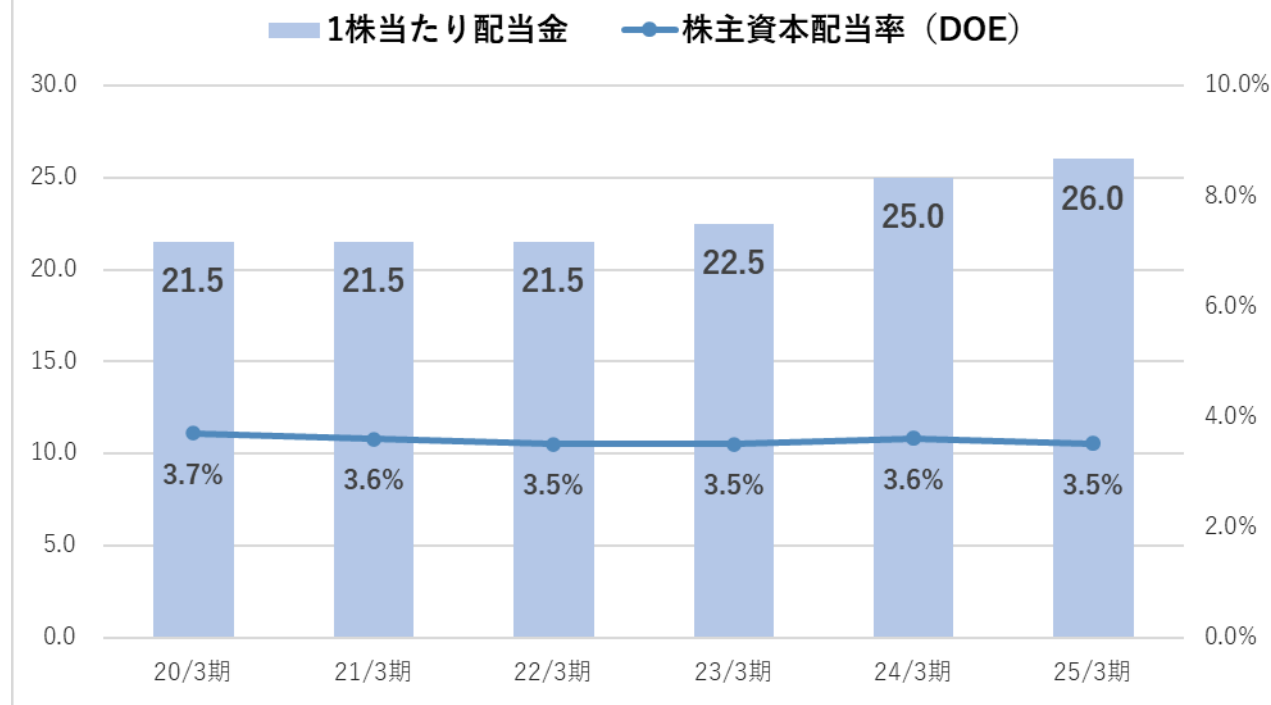
短期的な業績指標に基づくものではなく、財務体質の強化と長期的な企業価値の向上を踏まえたものでありたいという考えのもと、安定的・継続的な配当を実施

株主資本配当率（DOE）3.5%

の水準を目途に実施

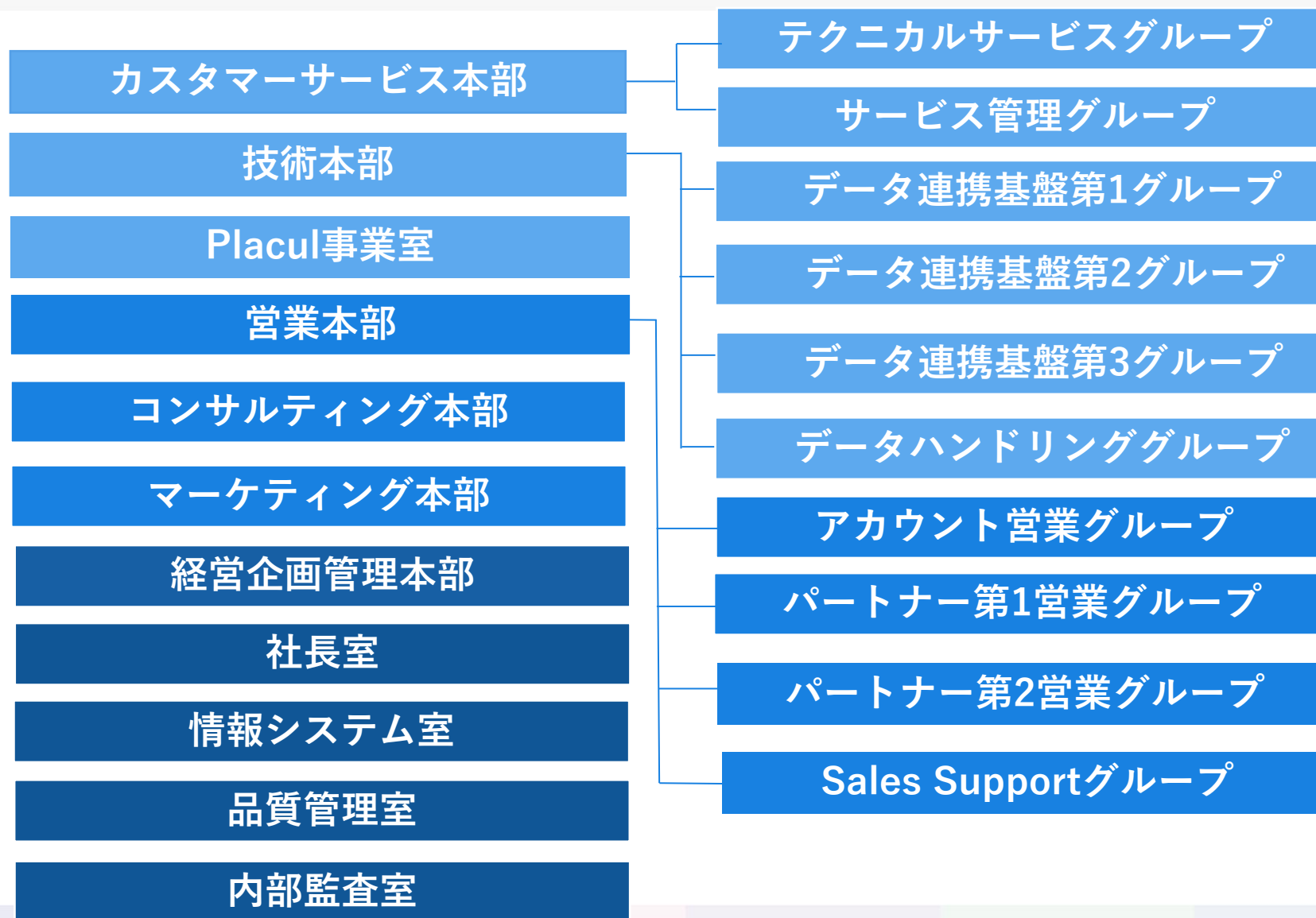
配当下限額として 25円

1株当たり配当金と株主資本配当率（DOE）



※2025年3月期は1円増配し、1株当たり26円とする予定です。

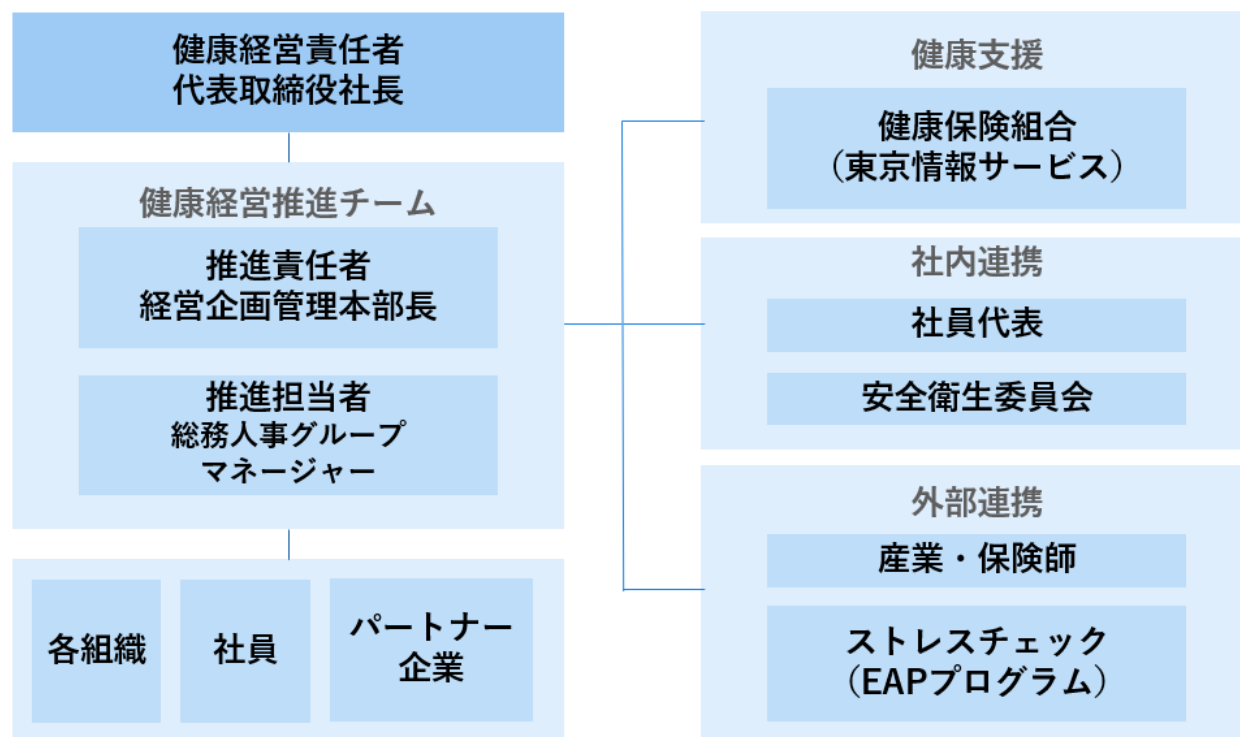
組織図（概略）



健康経営方針

当社は「個人と組織がともに成長し続けるDIGITAL WORKを実現する」をテーマに、企業の持続的成長と企業価値の向上を目指しております。

そのためには、優秀な人材の教育・育成、個々が働きがいや充足感を持つことのできる労働環境の整備が重要であると認識し、事業戦略の柱の一つに人的資本経営の推進を掲げており、この基盤となるのが従業員の健康です。



<体制図>

用語集

用語	用語解説
DX (Digital Transformation)	企業を取り巻く市場環境のデジタル化に対応するため、企業が行うあらゆる経済活動やそれを構成するビジネスモデル、ならびに組織・文化・制度といった企業そのものを変革していく一連の取り組み。
EDI (Electronic Data Interchange)	商取引に関する情報を標準的な書式に統一して、企業間で電子的に交換する仕組み。受発注や見積もり、決済、出入荷などに関わるデータを、あらかじめ定められた形式にしたがって電子化し、専用線やVANなどのネットワークを通じて送受信する。
EAI (Enterprise Application Integration)	企業内で業務に使用される複数のコンピュータシステムを有機的に連携させ、データやプロセスの効率的な統合を図ること。また、それを支援する一連の技術やソフトウェアの総称。
ETL (Extract Transform Load)	企業の基幹系システムなどに蓄積されたデータを抽出(Extract)し、データウェアハウスなどで利用しやすい形に加工(Transform)し、対象となるデータベースに書き出す(Load)こと。また、これら一連の処理を支援するソフトウェア。
AI-OCR	AI（人工知能）技術を取り入れた光学文字認識機能

「データと一緒にワクワクする未来へ！」

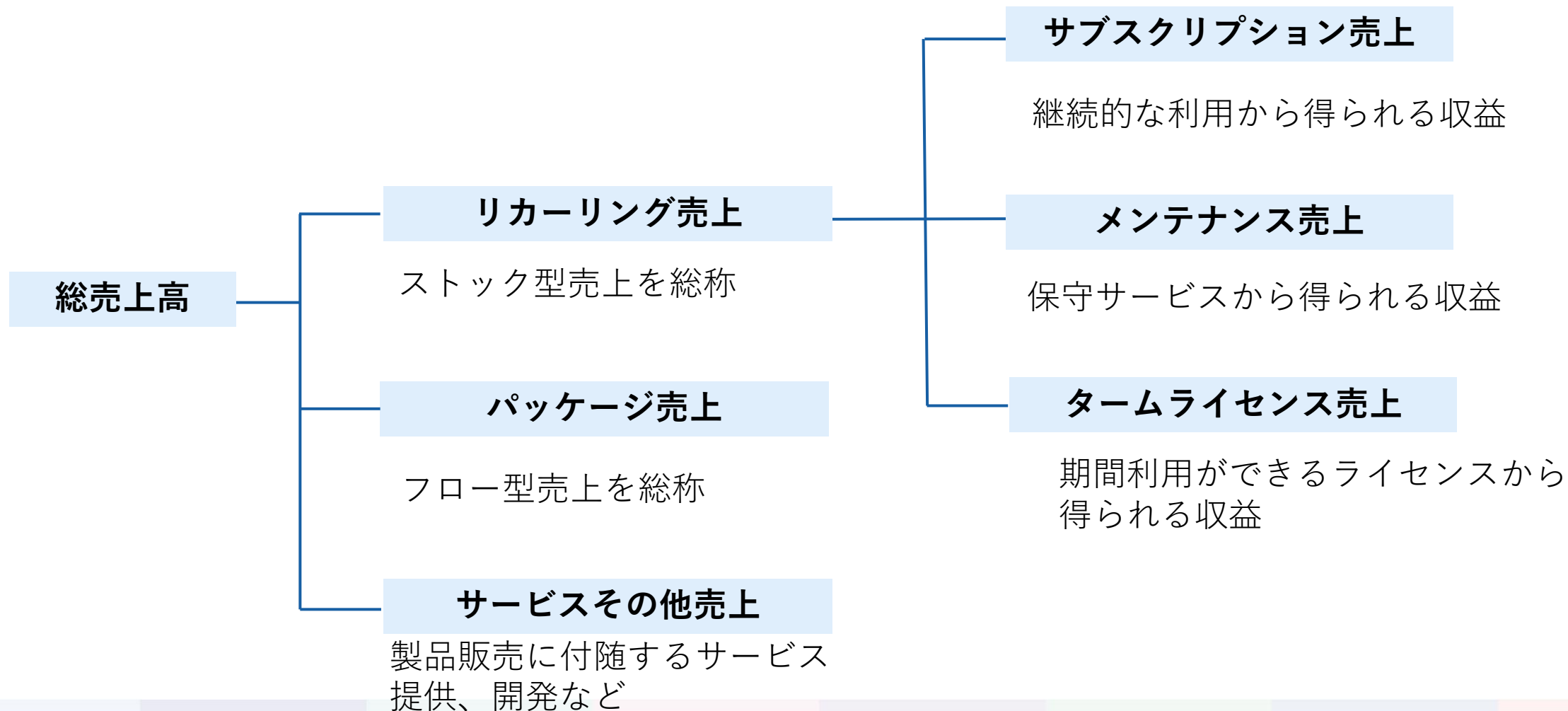
データをつなぐだけでなく、企業が必要な形に加工、活用し、企業のみならず、人や社会に還元していく。

あらゆるデータの基盤には、私たちの製品があり、すべての人・社会がデータでつながる「データと一緒にワクワクする未来へ」。

それが私たちが実現していく未来です。

参考：販売方法による売上計上区分

- 当社では、販売方法により、以下のように売上計上を区分しています。



【IRに関するお問い合わせ先】

DAL

株式会社データ・アプリケーション

〒104-0028

東京都中央区八重洲2-2-1東京ミッドタウン八重洲
八重洲セントラルタワー27F

Phone 03-6370-0909

E-Mail ir@dal.co.jp



公式サイト



公式Facebook



公式X



公式YouTube



公式note

※現在、働き方改革の観点から、在宅勤務と出社のハイブリッド勤務推奨のため、お電話でのお問い合わせの場合、折り返しのお電話になりますことをご了承下さい。

※本資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

※投資を行う際は、当社が作成する有価証券報告書をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

・DAL、ACMS、ACMS Cloud、ACMS Apex、E²X、WebFramer、RACCOON、AnyTran、OCRtran、Placulは、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標または登録商標です。

・その他、記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。